

中村やすひろ通信



能登半島地震から、早や1年が過ぎました。復興はいまだ、道半ば。改めて、被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。私は、昨年の議会質問で、災害時の避難生活における「福祉的な支援」の確保など、区の災害対策の強化を訴えました。危機管理意識を高め、さらに推進してまいります。

令和7年1月

議会報告

令和6年11月19日、区議会第4回定例会にて一般質問を行いました。

災害対策について

録画映像の視聴 ⇒



杉並区における災害対策の現在の取組状況と今後の展開について確認するとともに、区として、これまでの災害で浮き彫りとなった課題の研究を通して、危機管理体制の強化を訴えました。

●『TKB(トイレ・キッチン・ベッド)』の確保

- ★ 間仕切りや段ボールベッド、生活に必要な水の確保、快適なトイレの設置などについて、どのように対策を強化する考えか。

答弁:簡易間仕切りセットの配備や携帯トイレの配備拡充など、安心の避難生活が送れるよう対策を強化する

- ★ トイレトレーラーの配備について区の考えは。

答弁:利用箇所が限定的でコストもかかるが、他自治体の動向を注視し研究していく

- ★ 雑魚寝状態による健康被害対策としての段ボールベッドの配備計画は。

答弁:都内の紙業会社と協定を結んでおり、高齢者等を優先して救援所に配備する計画である



● 災害廃棄物の発生予測と処理体制

- ★ 災害で発生した廃棄物を一時集積するためのオープンスペースは十分に確保されるのか。

答弁:区内140箇所の公園で面積は確保できるが、地域偏在があるため、さらなる確保が重要

- ★ 災害ボランティアへの連携や指示系統、ルール等はどうなっているか。

答弁:社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設し、伝達、連絡調整、安全管理等の指示を行う

- ★ 災害廃棄物の処理に係る経費は、どの程度と見積もっているか。

答弁:発災後1年間の生活ごみ等の処理費用は約70億円、災害がれき処理の経費は約680億円と試算

●『財政のダム』の精度向上に向けた災害対応の財政シミュレーション

- ★ 災害発生時の緊急財政需要と財源を整理し、財政出動を予測する演習を行ってはどうか。

答弁:被災時の補正予算の内容の積算など研究する



その他、災害時のドローンの活用などについても、訴えました。

《裏面に関連情報》



杉並区内で地震災害が発生したら・・・

以下の数値は「東京湾北部地震 M7.3、冬18時 風速8m/秒」による推計量です。



◆ がれき発生推計量 約149万トン※1

	全体	種類別				
		コンクリート がら	木くず	金属くず	可燃系 混合物	不燃系 混合物
重量(万t)	149.2	93.3	12.9	4.6	2.8	35.8
体積(万㎡)	232.1	63.0	23.5	4.1	2.8	35.8

※ 端数処理により、総量は各数値の合計と一致しない場合があります。

- ★ 重量149万トンは、区内の年間のごみ収集・資源回収量の約12倍に相当します。
- ★ 体積量232万㎡は、東京ドーム約2個分に相当します。廃棄物の分別を行うことで129万㎡まで減らせることができます。
- ★ 災害廃棄物の処理には約3年を要し、ピーク時には12.4万㎡の仮置き場用のオープンスペースが必要とされています。

◆ し尿発生量の推計値 約29万リットル/日※2

- ★ 震災救援所におけるマンホールトイレ、固形化される携帯トイレ、バキュームカーなど、排せつ物の処理は様々な方法によることになります。

◆ 区内想定避難者数 約11万人※3

- ★ 区内で震度5強以上の地震が発生すると、区立小中学校等に震災救援所(計65カ所)が開設されます。家が無事で、地域に火災の危険がなければ、あわてて避難する必要はありません。火の手や煙が近くに見えたり、家の倒壊などの危険を感じたりした時は、すぐに避難しましょう。

◆ ライフラインが被害

- ★ 電気・ガス・水道が被害を受けた場合は、復旧までに時間がかかります。電気の復旧は比較的早い傾向にありますが、ガス・水道の復旧には時間がかかります。

復旧までにかかった日数※4		
電気	阪神・淡路大震災	6日
	熊本地震	6日
ガス	阪神・淡路大震災	84日
	熊本地震	16日
水道	阪神・淡路大震災	90日
	熊本地震	105日

※1、2 杉並区災害廃棄物処理計画(令和2年度策定)

※3 杉並区地域防災計画(令和6年修正)

※4 広報すぎなみ(令和5年9月1日号)

「いざ」という時のために(防災関連情報)

【杉並区 令和6年度防災用品あっせん】

【東京くらし防災 2023年度改定版】



中村 康弘 (なかむら やすひろ) 昭和41年12月14日生まれ 58歳

【略歴】 和歌山市出身。創価大学法学部卒・サンダーバード・グローバル経営大学院国際経営学修士(MBA)。

外資系企業勤務等を経て、平成19年4月より杉並区議会議員(現在5期目)。

【委員会所属】 保健福祉委員会、文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会委員長、広報委員長(令和7年1月現在)



Homepage



Facebook



X

メール: nospampls543@gmail.com

発行: 杉並区議会議員 中村康弘